

成 果 名	BMS 歴代全国 2 位の優秀種雄牛「寿恵福」を選抜			
<p>[要 約] 産肉能力検定（間接法）において、本年度候補種雄牛6頭を検定し、候補種雄牛「寿恵福」がBMS 全国歴代2位の4.1を記録した。「寿恵福」は糸福を父とし、糸福の後継種雄牛で肉質面に加え、肉量においても期待できる。 受精卵産子である「寿恵福」の兄弟牛4頭もBMS11,9,9,8と優れていた。</p>				
機 関 名	畜産試験場	肉用牛改良部	連絡先	0974-76-1216

[背景・ねらい]

産肉能力検定（間接法）において候補種雄牛産子（去勢子牛各8頭）を364日肥育し、増体量、飼料効率、発育、体型、肉量、肉質などを調査し、成績の特に優れた候補種雄牛を種雄牛として選抜する。

[成果の内容・特徴]

1．寿恵福の間接検定成績

- 1) 寿恵福の去勢産子7頭による枝肉調査成績でBMS4.1は全国平均2.6を大きく上回り、うち3頭は最高の5を記録し、すべてが3以上であった。
- 2) 枝肉の歩留等級は6頭が最高のAで、肉質等級は全頭最高の5であった。
- 3) 1日当たりの体重増を表すDGIは0.94kg、終了時体重は614kgと増体面もそれぞれ全国平均の0.93kg、596.0kgを上回った。
- 4) 枝肉形質の中で肉量面の優秀さを示す口 - ス芯面積が52cm² と全国平均48cm² を上回った。

2．寿恵福の全きょうだい検定成績

- 1) 寿恵福は平成9年4月9日に受精卵移植によって生産された種雄牛で、寿恵福と血統が同じ受精卵より生まれた兄弟牛4頭の肥育成績（平成11年度全きょうだい検定成績）ではそれぞれ終了時体重793・735・761・717kg、BMS11・9・9・8、口 - ス芯面積59・53・64・46cm² と優れていた。

3．寿恵福の血筋

- 1) 母牛「さだすえ7」は大分県の平成9年度春期種牛育種価では、BMSNo.29位であり、寿恵福の全姉である「いとさだ」は1位と高能力を示している。

[普及対象]

県下全域

[成果の活用面・留意点]

- 1．交配に当たっては雌牛の血統および種雄牛産子の体型上の特徴に留意すること。

[関連デ - タ]

表 1 寿恵福の間接検定成績

検定牛 名号	終了時 体重 (kg)	D G (kg)	飼料 要求率 TDN	推定 歩留 (%)	口-ス芯 面積 (cm ²)	皮下 脂肪厚 (cm)	ハラ厚 (cm)	BMS	備考
寿恵福	614	0.94	6.86	73.7	52	2.6	6.6	4.1	
13年度 (5頭平均)	601	0.96	6.38	73.9	50	2.1	6.4	3.0	
12年度 (6頭の平均)	599	0.93	6.26	73.4	47	2.5	6.7	3.0	

表 2 寿恵福及び間接検定材料牛終了時における体型上の特徴

種雄牛	共通の優れた点	共通の惜しまれる点
寿恵福 材料牛	資質、前軀、中軀 肉付き、資質、中軀、前軀	後軀 下腿

表 3 寿恵福の産地および血統

種雄牛	生年月日	産地(トナ-)	父	母	祖父	祖々父
寿恵福	H9.4.9	杵築市	糸福	さだすえ7	福鶴57	八重福

[発表文献等]

畜産試験場試験成績報告書(平成14年度)